

私たちの活動や意見を
仲間で共有します
会費は県と日本平和委
員会の活動も支えます

土浦平和の会ニュース

発行：土浦平和の会
事務局：土浦市神立町2664
ホームページ：[//heiwatutiura.web.fc2.com/](http://heiwatutiura.web.fc2.com/)

戦争法廃止！立憲主義の原則堅持！ 2000万署名の目標達成を！ ＜土浦平和の会は一人10筆＞

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が昨年10月に呼びかけて、現在全国で展開されている「戦争法廃止と立憲主義の原則を堅持し、憲法9条を守る」ことを国会と政府に求める2000万署名も来月には集約日を迎えます。

土浦平和の会では、会員のみなさんに各10筆の署名獲得をお願いしています。署名期間もあと1か月程となりました。お知り合いやご近所さんをお願いしたり、統一の署名行動日（別掲）に参加して集めるなど、残り期間中にぜひとも、目標を達成できますように、改めてお願いします。

用紙のない方は、お知り合いの平和の会会員にご連絡いただくか近藤事務局長に電話していただければご自宅

にお届けします。
電話は 080-1987-4050
です。



★土浦平和の会独自署名行動

3月17日(木)

10時 まちかど蔵駐車場集合
約1時間 周辺の商店・住宅を
訪問します

★憲法九条土浦の会署名行動

3月26日(土)

13時30分 天川公園集合
天川団地に入ります。平和の会の方
も参加できます。

茨城県弁護士会・日弁連共催 憲法シンポジウム

「我々は安保法制とどう向き合うべきか」

3月21日(月曜日・祝日) 13:30~16:30

つくば国際会議場 講師：半田 滋(東京新聞) 他

医療制度の改定と戦争法についての学習会

3月24日(木曜日) 13:30~15:00

ワークヒル土浦(土浦市勤労者福祉センター)会議室2
講師：田中英男(県社保協) 木村泉(県平和委員会)

私は絵を見るのが好きです。気に入った絵の前で、その作者と会話をします。

「この絵はどこで描いたのですか、どんな思いで何を訴えたいのですか、タッチは、構図は、色具合は、私はこんな感動を受けたのですが、…」など、具象・抽象のジャンルを問わず、立ち話可能な所ならどこでも「素人が玄人を相手に」気ままにやります。

そして絵の感動を言葉にしてメモに残します。絵を言葉に置き換えて記録します。だから静かでないと困ります。他人の頭越しに鑑賞するなんてもってのほかです。

1月末から2月初めに3泊4日の旅をしてきました。その旅のなかで1枚の絵に出会いました。

「この絵の作者は『九条美術の会』の発起人だよ」と友人が教えてくれました。そんなこともあって、2月19日、上野で開催された第5回「九条美術展」に出かけました。

この日は美術展の呼びかけ人で『少年H』の著者でもある妹尾河童（83歳）さんの講演会もありました。

約3時間の講演で氏は「どんな名目にせよ“戦争に巻き込まれる危険な道、へ足を踏み込んだら、もう元には戻れません。”過去の歴史は、未来への予言だ」という言葉は、本当です！」と熱く語りました。

「美術が戦争のために用立てられた歴史がありますし、逆に美術が戦争の不条理を心に訴えかけ、人々に勇気を与えた歴史もあります」と、京都の安斉育郎さんが「九条美術の会」のパンフレットに一文を寄せています。

今回の美術展、240作品（1人1点）のすべてが後者のモノであり、「アーティストの平和を希求する熱いあるいは秘めた

思い」が切々と見る者に伝わってきました。

中でも私が一番気に入ったのは作品名

「やい、オトナ、戦争するな！ パンをくれ！」という油絵のような版画（20号）でした。

この作品は二十数名の明るい色の服を着た幼児から小学生ぐらいの少年少女が、灰色の壁を背に中天をにらみ、あるものは叫び、あるものは口を真一文字に佇む構図です。敗戦後の日本にあった、今も戦火の絶えないこの地球上の至る所にある、身近で身につまされる光景です。戦争の愚かさとむなしさを絵本の世界に移す工夫がありました。

出品者は大阪府の高田眞佐子さん。多分私と同じ団塊の世代に属する人だと思います。

「私たち団塊の世代も若者には負けないで 九条を守るぞ！」と作品に叫ばせているように思いました。

この三月には新国立美術館で日本アンデパンダン展が開催されます。この方の作品も出品されるそうです。メモ帳を持って出かけたと思います。

（今井 健治）

絵画と対話

